

第15回河川整備計画策定専門家委員会における意見等について

【柳瀬川流域】

整理番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
1	治水経済調査マニュアルに基づき B/C を算出されているが、マニュアルに含まれない人命や労働生産性や BCP、治水以外の環境面やレクリエーション、利用面などについても数字や効果を示すことができると事業の重要性が伝わるのではないか。	人命や環境面など、治水経済調査マニュアルでは示されていない部分の評価手法については引き続き検討してまいります。併せて、河川事業の重要性が伝わるような情報発信に努めてまいります。
2	水難事故をはじめ洪水時の下水道からの処理放流量等に関する協議を今後行っていくことが重要である。	下水道からの処理放流量については、協議の上、河川の流下能力に応じた放流量としております。いただいたご意見を踏まえ、連携を強化し、総合的な治水対策を推進してまいります。
3	流水の正常な機能の維持について、必要な流量の設定に努めると記載があるが、設定するとなった場合は流量観測が必要で、さらに正常流量を設定してしまうと、流量が不足する場合はそれを補給するための対策が必要となる。流域対策や処理水を流すなどの対策もあると思うが対策が打てない河川の方が多いのではないか。空堀川など元々水がない川については、水量が少ないのが本来の姿であるという考え方も大事ではないか。	動植物の生息、景観、水質など流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保について、さまざまな方策を検討してまいります。
4	河川整備計画変更原案本文の P10 の洪水による災害の発生の防止又は軽減に関する事項に魚道の写真が掲載されているが、洪水に特化した写真に変えてもいいのではないか。	いただいたご意見を参考に記載等を修正いたします。
5	柳瀬川流域のような中小河川は計画対象降雨をどう設定するかが難しい。東京は洪水到達期間が1時間以内のような川がほとんどだと思うので、1時間以内にどれだけ雨が降るか、水文、降雨流出現象として本質的な単位は何なのか、東京都なりの位置づけを研究してほしい。	分かり易さを優先し時間当たりの雨量で表現していますが、実際の検討に際しては、10分間隔で計測された降雨実績値に基づき計画降雨を設定し、整備内容等を検討しています。

6	<p>現場視察を行った久米川遊水池を例えばため池やビオトープに使うようなことができないか。湿地が減少してきているため、生き物のリザーバーとしての機能を同時に担保するのは有意義な使い方になるのではないか。</p>	<p>整備にあたっては、良好な河川環境の保全や再生に努めてまいります。</p>
---	---	---

【隅田川流域、中川・綾瀬川圏域、新河岸川及び白子川共通】

整理番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
1	<p>地質の記載について、昔の呼び方の記載となっている。例えば沖積世は現在だと完新世、洪積世は現在だと更新世であるため、それらを修正した方が良いのではないか。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、修正いたします。</p>
2	<p>スーパー堤防を整備したことによる効果を都自身で研究されることをお勧めする。過去に国の高規格堤防が整備され上部にマンションが出来た地区と、木造密集地域の気温や電気使用量を比較したところ、高規格堤防が整備された地区の方が電気使用量も少なく、気温も風の通りが良く遥かに涼しくなっていた。例えばエネルギーがひっ迫している時代に低エネルギー型の住まい方になっていると堂々と言っていいのではないか。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、大地震に対する安全性や河川環境の向上などの視点から、スーパー堤防整備における事業効果について検証を進めてまいります。</p>
3	<p>河川整備計画には単に防災的なものだけではなく、都民やサイクリストのための施設という位置づけもあっていいのではないか。治水、利水、環境のほかにレジャーもあり得るのではないか。</p>	<p>いただいたご意見や地域の皆様のニーズを踏まえ、関係機関と連携し河川の整備を進めてまいります。</p>
4	<p>東京では川に近づけない護岸が多い、東京でカヌーをやりうと思ったら川に下ろすところがない。海外では隅田川のような川でもカヌーやカヤックをやっている。そろそろ発想を変える時代に来ているのではないか。</p>	

【隅田川流域】

整理番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
1	隅田川のテラス整備のところで、隅田公園の墨堤の桜は墨田区が名勝の文化財として登録している範囲となる。名勝指定されているため、景観との調和や連続性に配慮していただきたい。	隅田川では、周辺環境や地域の特色に合わせたテラス修景工事を進めております。 今後も区と連携し、景観との調和や連続性に配慮したテラスの整備に努めてまいります。

【中川・綾瀬川圏域】

整理番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
1	整備計画本文中に流域面積が 987 km ² と記載があるが、流域面積であればこのエリアに降った雨が流域内の河川に出てくると思うが、そうならないのではないか。流域面積という表現が正しいのか確認していただきたい。	中川・綾瀬川圏域の流域は、大部分が平坦地であるものの、下水道の排水区域などを考慮し流域面積を決定し、国の直轄区間も含めて 987 km ² とされています。

【八ツ瀬川】

整理番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
1	小笠原は世界自然遺産でもあるため、護岸は生物、景観に配慮し、例えば石積み風にして隙間に生物が入り込めるような護岸にするのがよい。	整備にあたっては、良好な河川環境の保全や再生が図れる川づくりに努めてまいります。

【共通事項】

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
1	<p>全ての公共事業に B/C が 1 以上であらねばらないという理論はないのでは。1 以下だから公共事業でやらざるを得ないと言うのもある。</p>	<p>事業の効果については、治水経済調査マニュアルに基づき B/C を算出しております。治水経済調査マニュアルでは示されていない部分の評価手法については引き続き検討してまいります。併せて、河川事業の重要性が伝わるような情報発信に努めてまいります。</p>
2	<p>河川水質は昔と比べ改善されてきて、水生生物が棲める環境になっていると思うが、水生生物から見た河川の健全度を客観的に示せるような定量的評価は現在行われていない。生き物の視点からの良い川の評価をデータに基づいてできるとよい。</p>	<p>地域や関係機関との連携については、学校教育等との連携を図るほか、河川愛護月間の行事等を通じて、河川に関する普及・啓発に取り組んでまいります。</p>
3	<p>地域や関係機関との連携に関する事項の中に総合的な学習という項目があり、学校教育や生涯学習との連携の中で河川と人との繋がりなど連携事業としてやっていくことになっていると思うが、具体的に実現されることをお願いしたい。</p>	<p>地域や関係機関との連携については、学校教育等との連携を図るほか、河川愛護月間の行事等を通じて、河川に関する普及・啓発に取り組んでまいります。</p>